

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	発達支援つむぎ 香取台ルーム（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2024 年 8 月 15 日 ～ 2024 年 9 月 5 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2024 年 8 月 15 日 ～ 2024 年 9 月 5 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2024 年 10 月 26 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	0 歳から小学6年生が過ごしており、様々な年齢との関わりを経験することができる。 利用児童が増え、体験学習の実施や保護者同士の繋がりの方が期待できる。	園児や小学生の部屋の行き来を可としているため、様々な関わりがある。 また職員間での情報共有の場を意識してつくっている。	さらに子ども間や職員間の機会の場を増やす。また、保護者が参加できる体験や講座を開催していく。
2	ヤギやニワトリなどの生き物の関わり、広大な自然のある園庭環境がある。	生き物の世話ができる機会があり、それが日課となっている。 園庭で遊ぶ時間の確保だけではなく、火・水・土にも触れる機会を増やしている。	計画された活動や行事にも自然環境を活かししていき、子どもたちへの体験の機会を図る。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会	時間の確保ができていなかった。	土曜日の時間、事前に計画した日付を告知していくことと保護者同士が話すことのできる機会を提供していく。
2	個別的ニーズに対する支援	基盤である保育を通して生活場面や遊びの場面、コミュニケーション場面での支援を事業所の強みとしている。そのため保育の中での個別的ニーズに焦点を当てた支援は難しい。	保育場面で可能な限り、最大限の支援を行っていく。職員は子どもの心情や行動を把握し、適度な距離感と適切な支援を行う。
3			

2024年度 つむぎ香取台（児童発達支援） 利用者アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア (最大スコア5)	改善策・ご意見への対応について ※平均スコア4.0を下回る設問について改善策を記載します。
保護者様やお子さまへの説明・対応等	Q4	ご契約時に契約内容、料金、非常時の対応・避難経路について、丁寧に分かりやすい説明がありましたか。	4.6	
	Q5	登園時・降園時にスタッフは気持ちの良い挨拶をしていますか。	4.8	
	Q6	登園時にご家庭での様子をもれなく聞き取りできていますか。	4.6	
	Q7	スタッフからお子さまへの言葉がけは分かりやすく、適切ですか。	4.6	
	Q8	スタッフはお子さまの様子や活動後の振り返り、保護者様からのご質問に対して、分かりやすくお伝えしていますか。	4.6	
支援の提供について	Q9	個別支援計画の内容は、お子さまの様子にあった適切な支援目標が設定されていると思いますか。	4.5	
	Q10	支援の内容は、お子さまの支援目標に沿っているものだと思いますか。	4.5	
	Q11	イベント開催告知や活動内容など、お子さまや保護者様に対して、分かりやすく情報を発信できていると思いますか。	4.2	
	Q12	保護者様やお子さまからご意見・ご提案があった場合、迅速かつ適切に対応していると思いますか。	4.5	
	Q13	お子さまは必要な支援を受けられていると感じていますか	4.3	
環境・体制	Q14	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であると思いますか。	4.6	
	Q15	スタッフ同士の情報共有は適切に行われていると思いますか。	4.3	
関係機関と保護者様との連携	Q16	保護者様同士がつながりを持てるようなイベントが企画されていますか。	3.5	時期やご要望を鑑みてイベントの企画を行ってまいります。回数は少ないですが、今年度もイベントを予定しておりますのでご興味がありましたらぜひご参加ください。
	Q17	子育てや家庭でのことを気軽にスタッフと話ができますか。	4.7	
	Q18	所属の幼稚園や保育園、利用している療育センターや他の児童発達支援事業所などと連携をとった支援をしていると思いますか。	3.9	お子さまの関係機関との連携は必要であると捉えております。日々のお子さまの様子や保護者様とのやりとりの中で、必要に応じた情報共有に努めてまいります。
満足度	Q19	ご利用されているつむぎを他の方に勧めたいですか？ (※最大スコア10)	8.9	
	Q20	つむぎでの活動を通じて、お子さまの成長や変化を実感したことがございましたら、ご自由にお書きください。		主に保育が基盤の支援形態ではありますが、お子さまの样子に合わせた関わりと支援を心掛けております。保育園との連携が必要になりますので、日々、スタッフ間で情報共有をしながら、お子さまの样子や成長について保護者様にも丁寧に共有していくことに努めてまいります。
	Q21	最後に本ルームの運営についてお気づきの点がございましたら、ご自由にお書きください。		つむぎの支援形態に関しましては、次年度の参考にさせていただきます。保育園との連携・支援や保育の質は改善の余地があると捉えております。スタッフと情報共有を丁寧に行い、連携に努め、お子さまや保護者様が少しでも安心してご利用ができる運営を目指してまいります。